

日本天文学会2021年秋季年会のお知らせ

2021年秋季年会は、2021年9月13日(月)から9月15日(水)までの3日間、京都産業大学で予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンライン開催といたします。実施方法などの詳しい情報については、年会ホームページを注視していただくようお願いいたします(<https://www.asj.or.jp/jp/activities/nenkai/>)。

(1)年会参加費、講演登録費、および年会予稿集代について

・料金表

項目	会 員	非会員	備考
参 加 費	無 料	無 料	参加登録が必要になります。
講演登録費	3,000 円(不課税)	10,000 円(消費税込み・企画セッション)	(1講演につき)
講演予稿集	2,000 円(消費税込み)	2,000 円(消費税込み)	

※講演申込をされた方は、以下に記す支払期間内に必ず料金をお支払いください。

※事前にお支払いがない場合は、会員4,000円(不課税)、非会員11,000円(消費税込み・企画セッション)の講演登録費をお支払いください。

※講演なしで参加のみの場合は、無料ですが参加登録が必要になります。登録開始は7月末の予定です。登録方法については、年会ホームページでお知らせいたします。

※講演なしで参加を希望される非会員の方は、年会実行委員会の参加承認が必要になります。委員会の判断により、ご希望に添えない場合もありますので予めご了承ください。

※クレジットカード会社、金融機関の利用明細をもって、本学会の領収書とさせていただきます。

※手続きのために参加証明書が必要な方は、参加登録フォームからお申送ください。年会終了後にメールで送付いたします。

・講演申込時にお支払いいただく料金

会 員：講演登録費 3,000円(1講演につき)

非会員：講演登録費 10,000円(企画セッション)(1講演につき)

※講演予稿集は、予約され、会費と一緒に料金を支払われている方には事前にお送りします。

それ以外の方で講演予稿集が必要な方は、上記金額に2,000円を足してお支払いください。郵送いたします。

また参加のみで講演予稿集が必要な方は、参加登録の際にお申送ください。郵送いたします。

※お支払いいただいた講演登録費は、原則として返金いたしません。

・支払期間

2021年6月1日(火)～6月15日(火)

・支払方法

●原則クレジットカード支払です。

※決済ページのURLは、講演申込の自動返信メールに記載されています。

※支払期間中に必ず手続きを済ませてください。

※クレジットカード決済代行サービス(アナザーレーン)を利用しております。

※取り扱いカードは、VISA, MasterCard, JCB, AMEX, DINERS の5種類です。

※クレジットカード支払が困難な方は、支払期間内に銀行振込、現金書留でお支払いください。

●銀行振込

銀行名：三菱UFJ銀行

支店名：三鷹支店

口座番号：普通4434400

口座名義：シャダンホウジンニホンテンモンガクカイ

※振込人の名前の前に、会員番号(入会申請中の方は入会申請受付番号)をお書きください。

(2) 受付期間

2016年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員に限られております。非会員の方は、講演申込の前に学会への入会申請をする必要があります。詳しくは年会ホームページをご参照ください。

事 項	受付期間・期限(日本標準時)	関連項目
講演申込(電子メール)	2021年 6月1日(火) 正午 ~ 6月8日(火) 正午	(3), (4), (5) 参照
講演登録費支払期間	2021年 6月1日(火) ~ 6月15日(火)	(1) 参照
複数講演の順序指定	2021年 6月15日(火) 正午まで	(6) 参照
ポストデッドライン・ペーパー	2021年 8月31日(火) 正午まで	(7) 参照
最新情報コーナー	今回は設置しません	(8) 参照
講演の変更など	わかった時点で直ちにご連絡ください	(9) 参照
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦	秋季年会では原則開催しません	(10) 参照
正会員用展示ブース	オンライン開催のため開催しません	(11) 参照
旅費一部補助	オンライン開催のため補助はありません	(12) 参照
各種の会合申込	今回は募集しません	(13) 参照
保育室の利用申込	今回は設置しません	(14) 参照
懇親会の参加申込	今回は開催しません	(15) 参照

(3) 分野と「企画セッション」

・講演分野は次の16分野です。

M.太陽, N.恒星・恒星進化, P1.星・惑星形成(星形成), P2.星・惑星形成(原始惑星系円盤), P3.星・惑星形成(惑星系), Q.星間現象, R.銀河, S.活動銀河核, T.銀河団, U.宇宙論, V1.観測機器(電波), V2.観測機器(光赤外・重力波・その他), V3.観測機器(X線・ γ 線), W.コンパクト天体, X.銀河形成・進化, Y.天文教育・広報普及・その他

・「企画セッション」は次の1件です。○印は世話人代表者です。

Z1.「次世代サブミリ波 -テラヘルツ地上単一鏡」(略称:新電波単一鏡)

世話人:○古屋玲(徳島大学), 久野成夫(筑波大学), 河野孝太郎(東京大学), 瀬田益道(関西学院大学), 下井倉ともみ(大妻女子大学), 田村陽一(名古屋大学), 新田冬夢(筑波大学)

・企画セッションは、世話人から依頼される講演と通常の講演、議論の時間などから構成され、その割り振りは世話人が決めます。講演者は世話人に対して講演申込を行います。tennetなどに流れる世話人からのアナウンスに注意し、講演申込に際しては世話人からの指示に従ってください。なお、講演登録費をお支払いの際には、世話人が全ての講演を投稿した後に、世話人から届く受付番号が必要となります。

(4) 講演の形式

・a 口頭講演(9分間の口頭発表と3分間の質疑応答); b ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発

表) ; c ポスター講演・口頭発表なし(ポスターのみ) の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。口頭講演は、Zoomを利用します。ポスターはWeb上で公開し、Slackなどの交流の場を用意する予定です。実施方法の詳細は年会ホームページに掲載予定ですので、注視していただくようお願いいたします (<https://www.asj.or.jp/jp/activities/nenkai/>)。

・講演者1人あたり可能な講演数は最大3件です。また、a講演は1人1講演までで、3件目の講演はc講演(ポスターのみ)に限ります。

(5)講演の申込方法(電子メール)

・年会ホームページに掲載します。説明をよく読んで申込を行ってください。

※郵送による申込は受け付けておりません。

※締切は 2021年6月8日(火) 12:00 JST を厳守してください。この締切日時を過ぎた申請は原則として一切受け付けません。また、締切当日のトラブルには対応できない場合もありますので、できるだけ締切前日の夕方までに投稿されることをお勧めします。

※講演は完成度の高いものに限ります。予稿の紙面を有効利用してください。予稿集は広範な読者が読むことを想定し、(i)十分な背景説明を行うこと、(ii)研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること、の2点を心がけてください。これらに留意すれば、大抵は10行以上の予稿になるはずですが、以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申込は、受理しない場合があります。

※年間予約をいただいている予稿集は事前配布となっており、2021年8月20日付で発行する予定です。年会ホームページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもありえます。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際などは、十分ご注意ください。

※講演者は必ずしも筆頭著者でなくても結構です。講演登録費はこの講演者が支払ってください。筆頭著者は「講演予稿集」の講演者リストの先頭に記され、申込時の講演者は「年会プログラム」で確認することができます。

※講演予稿の「キーワード」は、Y分野以外は、下記の PASJ Keyword list を使用いただきますようお願いします。

<https://academic.oup.com/pasj/pages/PasjKeywords>

(6)複数講演の順序指定

・グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申込後、期限内に下記1, 2を明記し、年会実行委員会宛にご連絡ください。

1. 受付番号(分野、発表形式を含む番号)、2. 講演者名

・講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

・b講演は2時間のセッションの最後にスケジュールする予定です。順序指定に a 講演と b 講演が含まれる場合は、b講演を最後に並べてください。ご希望に添えない場合もありますのでご承知おきください。

(7)ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

・PDL は、緊急性・トピックス性に富んだ内容について、通常の講演申込の締切後にも講演を受け付ける制度です。約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由(個人・グループの事情は不可)が必要です。

・申請される場合は上記の理由を明記の上、年会実行委員会までお問い合わせください。申請頂いた内容は年会実行委員会で審査し、受理の可否を判断いたします。なお、通常の申込よりも受理の基準がかなり厳しくなります。

・PDL の講演形式は、原則、c ポスター講演・口頭発表なし(ポスターのみ)になります。ただし、プログラムに余裕がある場合は、b ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発表)も可能です。希望する形式を記入してください。

・PDL の受付期間を過ぎた後の申請については、年会実行委員会にご相談ください。

・日本天文学会年会における発表は、PDL も含め天文学会員に限られているため、非会員の方は天文学会員になる必要があります。PDL の審査に加え、会員になる手続きにも時間を要しますので、PDL 申請を考えている非会員

の方は、まず年会実行委員会にお問い合わせください。

(8) 最新情報コーナー

- ・今回は設置しません。

(9) 講演のキャンセルや変更

- ・申込んだ講演については、年会実行委員会の承認なくキャンセルすることはもちろん、講演者、講演題名、講演著者、講演内容も変更することはできません。
- ・やむをえず講演をキャンセルしたり、登壇者を変更したりする場合は、共著者の承諾を得た上で、年会実行委員会にて承認の手続きが必要になります。キャンセルや変更を希望する理由を添えて、原則講演者が速やかに年会実行委員会まで連絡してください。ただし、キャンセルは極力避け、可能な限り代理登壇者を立ててください。なお代理登壇者は原則学会員とします。会期中、直前の申し出は承認できない場合があります。
- ・講演申込後に講演をキャンセル等しても、講演登録費の返金はいりません。

(10) 特別セッション・特別講演・招待講演

- ・多くの会員が関心を持つ話題について、特別セッションを開くことができます。秋季年会では原則開催しませんが、希望する場合は年会実行委員会にご相談ください。

(11) 正会員用展示ブース

- ・設置しません。

(12) 旅費一部補助

- ・旅費補助はありません。

(13) 年会時の各種会合

- ・募集しません。

(14) 年会会期中の保育室

- ・設置しません。

(15) 懇親会

- ・開催しません。

(16) 連絡先

◆年会実行委員会 e-mail:nenkai-committee@asj.or.jp

委員長 古澤久徳(年会実行理事・国立天文台)

電話:0422-34-3562

年会係 田口谷怜奈(日本天文学会)

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

電話:0422-31-5488 FAX:0422-31-5487 e-mail:nenkai@asj.or.jp

年会開催期間(2021年9月13日～15日)の連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会ホームページ <https://www.asj.or.jp/jp/activities/nenkai/>

古澤久徳(年会実行委員長)